

日本ポリアミン学会 第2回年会

プログラム及び抄録集

開催日時：2011(平成23)年1月27(木)-28日(金)

開催場所：帝京大学宇都宮キャンパス

(栃木県宇都宮市豊郷台1-1)

本年会に関連してご援助を頂いた方々

以下の方々に学会の運営およびそれに付随する種々の活動の円滑な遂行のために多大のご寄付あるいはご援助（あるいは現物で、あるいは宣伝活動の形で）をいただきました。これらのご援助なしには本年会のスムーズな遂行はできませんでした。ここに記させていただきました（あいうえお順）、深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

寄付金によるサポート

(株) インターリハ様

(株) 大塚カラー鹿沼印刷事業所様

(株) 計測技研様

(株) 鍋林フジサイエンス様

(株) フィジオテック様

(株) レノバサイエンス様

帝京大学学長 沖永佳史様

栃木県柔道整復師会会長 宇井 肇様

現物支給によるサポート

(株) 協同乳業（ヨーグルト）様

宣伝活動によるサポート

宇都宮観光コンベンション協会様

「日本ポリアミン学会 第2回年会」概要

日時：平成23年1月27日（木）-28日（金）

27日（木）13：00-18：30（受付：11：30より）

28日（金） 9：00-16：00

場所： 帝京大学宇都宮キャンパス2号館101号室

宇都宮キャンパスへのアクセス：（栃木県宇都宮市豊郷台1-1）

<http://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/guidance/access/utsunomiya/index.html>

JR 東北新幹線、東北本線（通称「宇都宮線」）、宇都宮駅下車

西口より関東バス5番乗り場：豊郷台・帝京大学行（18番）または宇都宮美術館行（60番）、ニュー富士見行（64番）、所要時間：25分、「帝京大学」下車（運賃330円）。そこが会場。（各方面ほぼ毎時1本運行）

宇都宮駅西口からタクシー利用の場合、約20分、約2500円。

学会参加費： 3,000円（学生1,500円）

プログラム内容

☆基調講演：27日：「これからの日本ポリアミン学会の方向」

司会：大島泰郎；

話題提供者：五十嵐一衛、草野友延、松藤千弥。

コメンテーター：白幡 晶

☆特別講演：28日午前

特別講演1：松藤千弥「細胞内ポリアミン濃度の変動と維持」

（座長：川喜田正夫）

特別講演2：五十嵐一衛「ポリアミンの細胞増殖・分化に果たす役割」

（座長：大澤仲昭）

Special Lecture 3：Qiu Yan: Expression of sLeX/LeY Lewis oligosaccharides and regulation of their function by specific fucosyltransferases in embryo implantation.

（Chair: Koichiro Shiokawa）（特別招待講演：一般学生・教員も聴講可です）

一般講演：15分（質問時間込）

参加者へのご案内

1. 受付（レジストレーション）

第2回年会会場は帝京大学宇都宮キャンパス本部棟2号館101教室です。受付の場所はその真上、すなわち2階の201号室です。事前参加登録をされていない方は参加費をお支払いの上、ネームプレート、名札、領収書、要旨集をお受け取りください。学生の方は学生証をご提示ください。事前参加登録をされている方で領収書が必要な方はお申し出ください。お荷物はここで預けてください（クローク）。

2. 懇親会

大会第1日終了後、学生食堂パーティールームで開催（無料）。18:45-20:45（お帰りは、帝京大学発宇都宮駅行きバス：20:10、21:04、21:23のいずれかに乗られて、大工町または上河原（JR宇都宮駅の3つおよび2つ前のバス停）で降りられると、通りの向かいにホテルニューイタヤがあります。）

3. その他

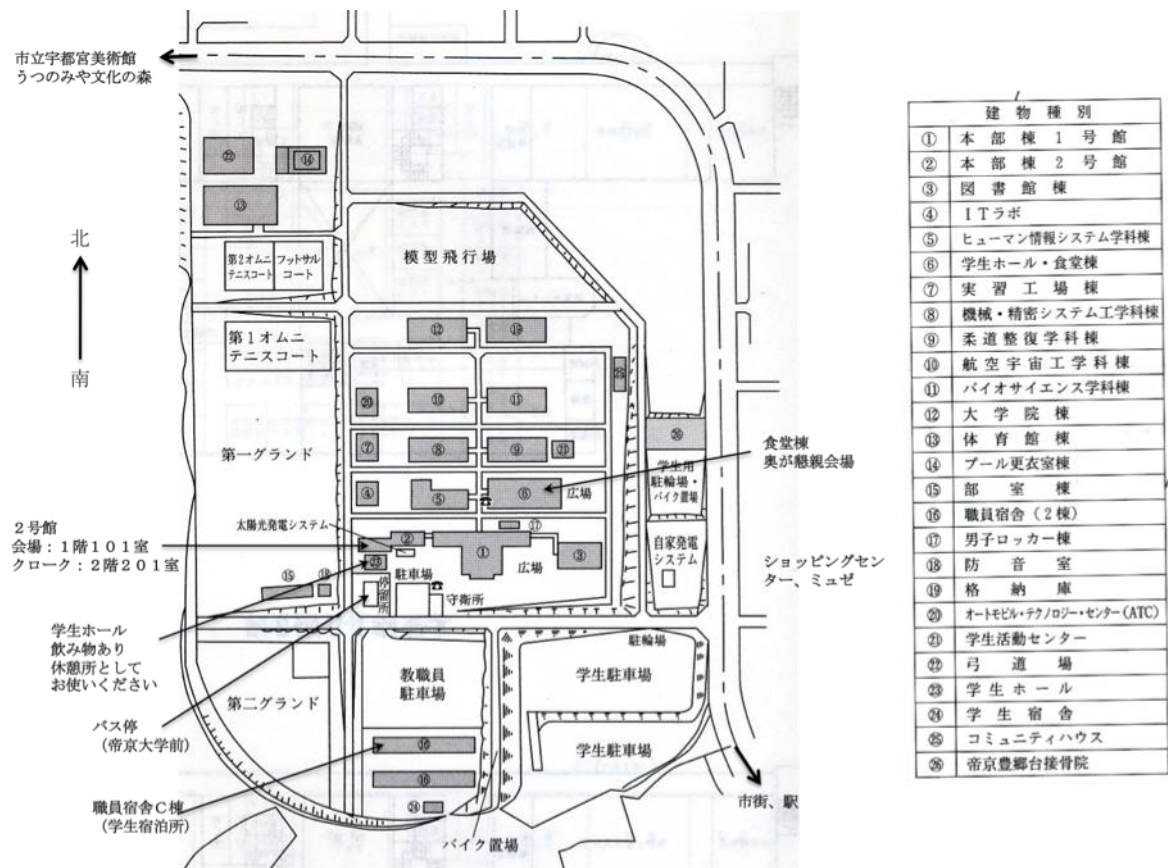
休憩室：学生ホール（2号館出口正面、バス停と2号館の間）を休憩スペースとして会期中は学会参加者に開放してあります。初日のコーヒースタンドの際のコーヒースタンドのテイクアウトの場所がここです。また、飲み物等の自動販売機があります。休憩時間のコーヒールームとして使用可能です。

喫煙所：構内ではボックス型の喫煙所（タバコマーク貼付）がありますので、その中で喫煙してください。休憩室に使う学生ホールの裏手にも1つあります。

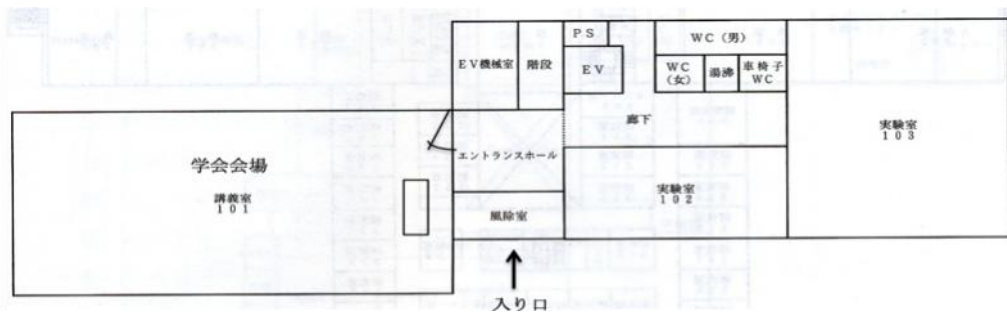
昼食：学生食堂をご利用ください。食券制。学生食堂の奥のパーティールームが学会参加者の昼食用に確保してあります。（12:30-13:20の時間帯は学生の昼休みのため、混み合うことが予想されます。）

4. 発表者へのご案内

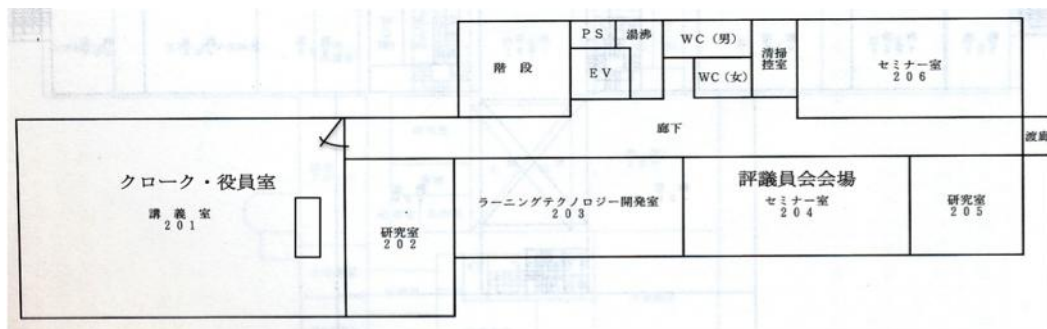
一般講演の口演時間は15分（質疑応答を含む）です。発表はすべて液晶プロジェクターで行います。発表データはWindows版Microsoft PowerPoint 2003で作成し、USBメモリーに保存してご持参下さい。Macの使用希望者は、事前に事務局（小松）までご連絡ください。会場のPCを利用する方は受付時に動作確認とデータ移行をお願いいたします。



大学構内案内図



本部棟2号館1階101号室(年会会場)



本部棟2号館2階201号室(年会本部、クロック) 204号室(評議員会会場)

第2回年会

現地(宇都宮)事務局メンバー・関係者リスト

第2回年会・会長（現地世話人代表）：

帝京大学（宇都宮キャンパス）医療技術学部・柔道整復学科／

理工学部・バイオサイエンス学科（兼担）

塩川光一郎

電話：028-627-7145, FAX:028-627-7187

E-mail: shiokawa@nasu.bio.teikyo-u.ac.jp

事務局長：

帝京大学（宇都宮キャンパス）医療技術学部・柔道整復学科／

理工学部バイオサイエンス学科（兼担）

小松 明

電話&FAX：028-627-7341

E-mail: akomatsu@ics.teikyo-u.ac.jp

事務局・会場・コーヒーブレイク係：

帝京大学（宇都宮キャンパス）理工学部・バイオサイエンス学科

梶谷正行

事務局・会場・宿舎係：

帝京大学（宇都宮キャンパス）理工学部・バイオサイエンス学科

高橋宣治

大学事務局総務・支援グループ代表：

帝京大学（宇都宮キャンパス）事務局・総務グループ

乾 泰典

Yan Qiu 教授成田空港出迎え・日光見学など世話係：

帝京大学（宇都宮キャンパス）医療技術学部・柔道整復学科

刈屋太郎

年会プログラム

第1日：27日（木曜日）：

受付（レジストレーション）：11：30より

13：00－13：05 第2回年会開会宣言： 塩川光一郎

セッションI：植物のポリアミン：座長：石井伊都子

13：05－13：20

○Sagor G.H.M¹・新津勝²・草野友延¹・高橋芳弘¹（¹東北大学・大学院生命科学研究科；²城西大学・薬学部）シロイヌナズナにおける熱ショックストレスに対するスペルミンの防御的役割

13：20－13：35

○懸樋潤一¹・Wurina¹・本瀬宏康¹・新津勝²・高橋卓¹（¹岡山大・院・自然科学；²城西大・薬）シロイヌナズナにおける外的なポリアミンの効果

13：35－13：50

○小野裕介¹・佐々木彩乃¹・新津勝²・草野友延¹・高橋芳弘¹（¹東北大・大学院生命科学研究科；²城西大学・薬学部）イネのポリアミン酸化酵素遺伝子の特徴づけ

セッションII：ポリアミンとストレス：座長：草野友延

13：50－14：05

○石井伊都子¹、渡辺健太¹、五十嵐一衛^{1,2}、北田光一³（¹千葉大・院薬学研究院；²アミンファーマ；³千葉大病院薬剤）アクロレイン化LDLによるマクロファージ泡沫化について

14：05－14：20

○柏木敬子¹、吉田円²、溝井睦美²、齋木遼太郎^{2,3}、富取秀行¹、五十嵐一衛^{2,3}
(¹千葉科学大薬学部、²アミンファーマ研、³千葉大院薬学研究院) **メタボリック
クシンドロームと血漿蛋白質抱合アクロレイン、IL-6、CRP より求めた脳梗塞リ
スク値との相関**

セッション III：新しい分析法：座長：平松恭子

14：20－14：35

○山寄健一¹・池口文彦¹・丹波卓也¹・A. E. Pegg²・白幡 晶¹ (¹城西大学・薬
学；²米国ペンシルバニア州立大・医学部) **エテノ蛍光誘導体化法を用いる S-
アデノシルメチオニン脱炭酸酵素活性測定法の開発**

14：35－14：50

○森谷俊介・平松恭子・斎藤文江・高浜恵美・岩崎香里・川喜田正夫（東京都
臨床医学総合研究所・分子医療プロジェクト）**腫瘍マーカー N¹、N¹²-ジアセチ
ルスペルミン測定のためのイムノクロマト法**

14：50－15：05

○小黒明広、松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）**RNA アプタマーを用いたポリ
アミン検出系の開発**

15：05－15：35

コーヒーブレイク（宇都宮美術館のレストランよりコーヒーが届き
ます。会場前の学生ホールで、コーヒーを **take** してください。ホー
ル内のテーブルもしくは外のベンチ等をご利用ください）

15：35－16：45

☆基調講演 リレー講演会：「これからの日本ポリアミン学会の方向」

司会：大島泰郎

○大島泰郎（共和化工(株)環境微生物学研）**イントロダクション：これからの日
本ポリアミン学会の方向：微生物のポリアミンの研究（約10分間）**

話題提供者：

○五十嵐一衛^{1,2} (¹千葉大・院・薬学研究院；²アミンファーマ研)（約15分間）

○草野友延（東北大・院・生命科学研）（約15分間）

○松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）（約10分間）

コメンテーター：白幡 晶（城西大・薬学）

セッションIV：ポリアミンのはたらき：座長：川喜田正夫

16:45-17:00

○進 正志、藤原邦雄（崇城大・生物生命・応用生命科学）抗がん剤によるアポトーシスとポリアミン小体の出現

17:00-17:15

○平松恭子¹・桑田 剛²・小泉浩一²・高橋慶一³・三浦正子¹・岩崎香里¹・森谷俊介¹・斎藤文江¹・高浜恵美¹・鮫島啓二郎⁴・川喜田正夫¹（¹東京都臨床医学総合研分子医療；²がん・感染症センター 都立駒込病院 内視鏡；³がん・感染症センター 都立駒込病院 大腸外科；⁴武蔵野大学薬学研）大腸癌組織および肝転移組織中のポリアミン含有量：癌組織特異的な N¹, N¹²-ジアセチルスペルミンの増加

セッションV：高度好熱菌：座長：大城戸真喜子

17:15-17:30

○竹田悠見子¹、太田敏博¹、岩崎（林）容子²、星野武司³、熊坂 崇³、森屋利幸²、大島泰郎²（¹東京薬科大・生命科学、²共和化工株式会社・環境微生物学研、³財団法人 高輝度光科学研究センター・利用研究促進）高度好熱菌 HB8 株における、Deoxyhypusine synthase-like (DSL) タンパク質の *sym*-homospermidine 生合成経路への関与

17:30-17:45

○新谷有香¹・浦野直人¹・石田真巳¹・大島泰郎²（¹東京海洋大学・海洋科学部・海洋環境学科；²共和化工・環境微生物学研究所）高度好熱菌 *Thermus thermophilus* スペルミジン合成系の *in vitro* 再構成のための酵素生産

セッションVI：代謝制御：座長：白幡 晶

17:45-18:00

○松本光晴^{1,2}・栗原新^{3,4}・木邊量子²・大賀拓史⁵・坂井 友美³・村松幸治¹・

澤木笑美子¹・鈴木秀之³・辨野義己²（¹協同乳業・研究所・技術開発；²理研・辨野特別研究室；³京都工芸繊維大・工芸科学・応用生物；⁴京都大院・生命科学研；⁵ ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ）腸内ポリアミン濃度に影響を与える腸内細菌由来代謝産物のメタボローム解析

18:00-18:15

○坂井友美¹・栗原新^{1,2}・松本光晴^{3,4}・木邊量子⁴・辨野義己⁴・鈴木秀之¹（¹京都工芸繊維大・工芸科学・応用生物；²京都大・院・生命科学研・統合生命科学・³協同乳業研・技術開発；⁴理研・辨野特別研究室）モデル生物大腸菌を用いた腸内ポリアミン濃度制御物質の同定

18:15-18:30

○木邊量子¹・坂井友美²・栗原新^{2,3}・鈴木秀之²・松本光晴^{1,4}・辨野義己¹（¹理研・辨野特別研究室；²京都工芸繊維大・工芸科学・応用生物；³京都大院・生命科学研；⁴協同乳業・研究所・技術開発）腸内細菌叢におけるポリアミン濃度制御物質の評価

18:45-20:45: 懇親会（無料：飛び入り歓迎）

クロックでお荷物をお受け取りになって、学生食堂まで徒歩でお歩きください。学生食堂の奥（パーティールーム）に懇親会会場があります。3-5分で到着いたします。（お帰りのバスは、帝京大学発宇都宮駅行き：20:10、21:04、21:23）

第2日：28日（金）：

朝はホテル（ホテルニューイタヤ）から貸し切りバスが出ます
（出発予定：8:20）

セッションVII：アンチザイム：座長：柏木敬子
9:00-9:15

○大城戸真喜子・松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）**アンチザイム 1 ノックアウトマウスにおける骨髄造血細胞の解析**

9 : 15 - 9 : 30

○村上安子、大城戸真喜子、滝沢浩子、村井法之、松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）**ノックアウトマウスを用いたアンチザイムインヒビター1 (AIn1) の発現解析**

9 : 30 - 9 : 45

○村井法之・村上安子・松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）**アンチザイム 2 は細胞内で c-Myc の分解を促進する**

セッション VIII : バクテリアにおける代謝・輸送 : 座長 : 照井祐介

9 : 45 - 10 : 00

○根本直樹¹・栗原新^{1,2}・北原譲^{1,2}・朝田圭^{1,2}・加藤健二²・鈴木秀之¹（¹京都工芸繊維大・院・工芸科学研・応用生物；²京都大院・生命科学研・統合生命科学）**大腸菌のプトレッシン代謝制御**

10 : 00 - 10 : 15

○秋山真律子¹・照井祐介¹・田部井譲¹・東恭平²・富取秀行¹・山本兼由³・石浜明³・五十嵐一衛^{2,4}・柏木敬子¹（¹千葉科学大・薬；²千葉大院・薬；³法政大・生命科学；⁴アミンファーマ研）**ポリアミンの微生物の生存率に果たす役割**

10 : 15 - 10 : 30

○栗原新^{1,2}、岩井杏依子¹、壺井雄一^{1,2}、鈴木秀之¹（¹京都工芸繊維大・工芸科学・応用生物；²京都大・院・生命科学・統合生命）**大腸菌の新規プトレッシンインポーターPucABCD**

10 : 30 - 11 : 00

特別講演 1 : 座長 : 川喜田正夫

○松藤千弥（慈恵医大・分子生物学）**細胞内ポリアミン濃度の変動と維持**

11 : 00 - 11 : 30

特別講演 2 : 座長 : 大澤仲昭

○五十嵐一衛^{1,2} (¹千葉大・院薬学研 ; ²アミンファーマ研究所)

ポリアミンの細胞増殖・分化に果たす役割

11 : 30 - 12 : 15 (特別招待講演 : 一般学生・教員も聴講可)

Special Lecture 3 : Chair: Koichiro Shiokawa

○Qiu Yan (Depart. of Biochem. & Mol. Biol., Dalian Medical Univ.; Liaoning Provincial Core Lab. of Glycobiol. & Glycoengineer, Dalian, People's Republic of China) **Expression of sLeX/LeY Lewis oligosaccharides and regulation of their function by specific fucosyltransferases in embryo implantation**

12 : 15 - 13 : 30

大学食堂にて、昼食 (日本ポリアミン学会会員のために、何種類かの昼食が用意してあります : 有料、食券制)

12 : 15 - 13 : 15 評議員会

会場 : 2号館2階のセミナー室204号室 (パワーポイント使用)

13 : 30 - 14 : 00 日本ポリアミン学会総会

会場 : 講演会場 (2号館1階101号室)

セッション IX : 細胞・代謝 : 座長 : 池口文彦

14 : 00 - 14 : 15

○児島征司、高塚由美子²、阿部直樹、金子淳、神尾好是¹ (東北大院・農、¹東北学院大・環境防災工学、²山形大・理工) *Selenomonas ruminantium* におけるペプチドグリカン (PG) 結合型カダベリンを介した外膜-PG 間接着機構の解析

14 : 15 - 14 : 30

○早田邦康 (自治医科大附属さいたま医療センター ; 総合医学2・循環器病臨床医学研) **地中海食は高ポリアミン食である -Ecological study-**

セッション X : 発生とポリアミン : 座長 : 塩川光一郎

14 : 30 - 14 : 45

○近藤剛士¹・高橋宣治¹・梶谷正行¹・五十嵐一衛²・塩川光一郎^{1,3} (¹帝京大・理工学・バイオサイエンス；²千葉大・薬；³帝京大・医療技術・柔道整復) アフリカツメガエル初期胚培養液に与えたポリアミンが胚発生に及ぼす影響

14 : 45 - 15 : 00

○高井惇一¹・高橋宣治¹・塩川光一郎^{1,2} (¹帝京大・理工・バイオサイエンス；²帝京大・医療技術・柔道整復) 動物極側、帯域、植物極側の各領域に分割したアフリカツメガエル胞胚の形態形成に対するスペルミンの作用

15 : 00 - 15 : 15

○麻生舞¹・高橋宣治¹・梶谷正行¹・照井祐介²・五十嵐一衛²・塩川光一郎^{1,3} (¹帝京大・理工・バイオサイエンス；²千葉大・薬；³帝京大・医療技術・柔道整復) アフリカツメガエル初期胚発生での高温ストレス応答におけるポリアミンの働き

15 : 15 - 15 : 30

○三品尊道¹・淵向孝太¹・田代康介²・五十嵐一衛³・塩川光一郎^{1,4} (¹帝京大・理工学・バイオサイエンス；²九州大・農・資源生物；³千葉大・薬；⁴帝京大・医療技術・柔道整復) アフリカツメガエル 8-細胞期胚に注入した β -カテニン mRNA の 2 次頭部形成能に対するポリアミン共注入の影響

15 : 30 - 15 : 45

○淵向孝太¹・三品尊道¹・高橋宣治¹・田代康介²・五十嵐一衛³・塩川光一郎^{1,4} (¹帝京大・理工・バイオサイエンス；²九州大・農・資源生物；³千葉大・薬学；⁴帝京大・医療技術・柔道整復) アフリカツメガエル胞胚の胞胚腔に注入した成長因子およびその mRNA の作用に対するポリアミン共注入の影響

15 : 45 - 15 : 55 年会総括：大島 泰郎

15 : 55 - 16 : 00 閉会宣言：小松 明

日本ポリアミン学会からのお知らせ

1. 日本ポリアミン学会のホームページ

URL : <http://pa.umin.jp/>

年会や国内外の関連会議の予定、その他のお知らせを随時掲載していますのでぜひご覧ください。また会員宛の情報、応募などは事務局に電子メールでご連絡いただければ掲載いたします。

2. 会員登録情報の変更をご一報ください。

登録いただいた会員情報に変更がある場合は事務局に電子メールでご一報ください。特に、転出や学生さんの卒業・修了などの際にご連絡いただけると幸いです。

事務局 東京慈恵会医科大学・分子生物学講座 松藤千弥

電話 03-3433-1111 内線 2275

FAX 03-3436-3897

電子メール polyamine@jikei.ac.jp

製作責任者：塩川光一郎
小松 明

印刷：（株）大塚カラー